



歯科診療室だより

公立みつぎ総合病院

第8号

平成29年3月8日

ふと、道端に目を落とすと春の息吹、露の臺が芽を出していました。外はまだ寒さが厳しい時期ですが植物はもう春の準備をしているようです。

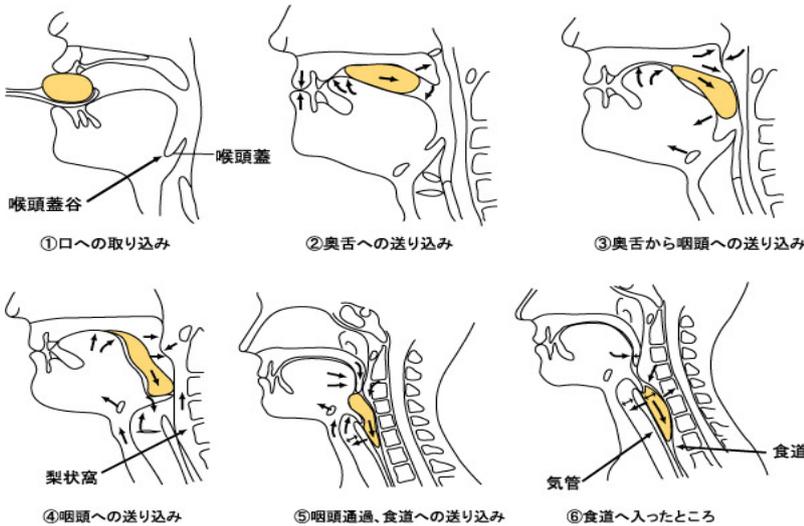
歯科診療室も春に向かったの準備を進めています。4月から1年間当院で研修した歯科医師臨床研修医も3月で研修が修了します。このため、最後のまとめを行っています。長いようで短かった1年ですが地域包括ケアを十分に経験できたと思います。これから新たに始まる歯科医師人生の役に立ててもらいたいものです。そして、4月からは（国家試験に合格すれば）新しい歯科医師臨床研修医が来る予定です。その準備も着々と行っています。また、新人の歯科衛生士も入ってくる予定です。“なが〜い目”で見守ってください。



摂食嚥下

「飲み込みが悪くてむせる人は肺炎のリスクが高くなるので注意しましょう！」ということ

を聞かれたことがありますか？病気や歳を取ってくると誰でも口の機能は低下するものです。少しずつ口の機能が低下しているので飲み込むことが難しくなってきたと感じる人は少ないと思います。



でも、どうやってヒトは食べ物等を飲み込んでいるのでしょうか？まず、人は食べられる物であるか認識します。左の図のように食べ物であれば口の中に

入れて歯で噛み砕きます。噛み砕いた食べ物は唾液と混ぜ舌を使って飲み込みやすいような形にします。そして、舌が前から後ろに動いて食べ物を喉の奥に送り込み、食道へと流れていきます。このとき、食道に食べ物が入らず気管に入ってしまうことを誤嚥と言います。誤嚥は、食べ物だけでなく自分の唾液でも起こります。この様に誤嚥が起こらないようにするためにも前号の“健口体操”を行うことも必要です。口の機能や口の中で気になることがあればお気軽に**歯科スタッフ**に相談してください。

文責 診療部長 占部秀徳